

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	職能訓練センター運営				シート番号	011-137
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害者支援	課 評価責任者(課長名) 佐野

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	無
	2	事業開始年度	昭和 63 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市立舳松職能訓練センター条例			
	4	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、第5期堺市障害福祉計画			
5	事業実施の経緯	企業への就労が困難な障害者等に対し、一定の訓練と技能養成を行うことによって、その就労・自立を推進するとともに、同和問題を始めあらゆる人権問題の速やかな解決に資するため、昭和63年に同和対策事業の一環として舳松職能訓練センターを設置した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()					
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	堺市内在住の障害者等					
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	職業能力の開発や技能養成などの職業訓練と生活指導を通じて、社会適応性の向上を図り、就労・自立の実現をめざす。					
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	【職業訓練業務】 ・ 訓練生個々の障害種別や程度に応じた適切な訓練と技能養成を行うことで、障害者自身の作業意欲や作業遂行能力の向上を図る。 ・ 訓練生との共同作業、施設外での研修や見学を通じて社会参加への意識と社会適応能力の向上を図る。 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					
10	直接実施以外の主な支出先	公益財団法人 堺市就労支援協会 等						

Ⅲ. 投入量

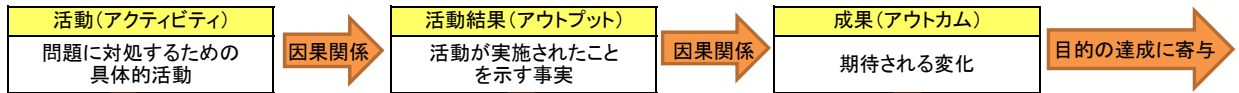
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	24,723	24,858	25,492	24,886	25,848	25,962	25,972	
主な事業費内訳	需用費(光熱水費等)	千円	4,006	4,305	4,486	3,993	4,489	4,802	4,647
	役務費(保険料等)	千円	104	69	104	98	91	77	91
	委託料(職業訓練及び維持管理業務等)	千円	20,613	20,484	20,902	20,795	21,268	21,083	21,234
		千円							
財源内訳	国・府支出金	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他()	千円							
一般財源	千円	24,723	24,858	25,492	24,886	25,848	25,962	25,972	
12 人件費 (b)	千円	8,200	8,200	8,200	8,200	8,100	8,100	8,200	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	32,923	33,058	33,692	33,086	33,948	34,062	34,172	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	職能訓練センター運営	シート番号	011-137
-------	------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	職業訓練の内容としては、部品の組立などの作業を行っている。作業は10人の訓練生全員が同じことをするのではなく、個々の障害特性や理解力などを踏まえながら作業手順を変えるなどの工夫を行い、訓練生の作業意欲や遂行能力の向上を図っている。また、社会参加への意識の向上を図るため、6月には他の就労施設の見学も行った。						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		訓練生数(3月末現在)	人	目標値	-	-	-	-
				実績値	10	10	10	
				達成率	-	-	-	
				評価	-	-	-	
	算出方法・設定根拠など		個々の障害種別や程度に応じた訓練と技能養成を行っており、数値目標は設定しない。					
	16	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				目標値				
				実績値				
				達成率				
				評価				

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	訓練生数	人	10	10	10
	②	上記①にかかる年間経費	千円	33,058	33,086	34,062
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	3,305,800	3,308,600	3,406,200
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		・個々の障害種別や程度に応じた適切な訓練と技能養成をおこなうことで、障害者自身の作業意欲や作業遂行能力の向上を図れている。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうだったか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	職能訓練センター運営	シート番号	011-137
-------	------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 就労が困難な障害者等の就労・自立を推進する機会が奪われる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 就労が困難な障害者等の就労・自立を推進する機会が奪われる。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 民間委託を実施しており、一定の効率的な運営が図れている。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 訓練時には定期的な換気、ソーシャルディスタンスの確保などの対応を行っている。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 職業訓練の内容が部品の組立などの作業であり、対面での指導が必要など、ICTの活用は現状では困難である。堺市独自の事業ではあるが、障害者の就労を支援するため独自事業を実施している政令市等もあり、サービス水準は同程度と考えられる。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 就労が困難な障害者等の就労・自立を推進するため、引き続き個々の障害種別や程度に応じた訓練と技能養成を行っていく。		